

大分市地域おこし協力隊 初年度活動報告

大分市地域おこし協力隊
野津原地域 地域活性化部門
藤丸 淑美



野津原地域 地域活性化部門

藤丸 淑美

Fujimaru Yoshimi

令和2年4月着任

中高時代5年間を大分市で過ごしたのち進学で福岡市へ。臨床検査技師として勤務するかたわら、プライベートでイベントや読書会の運営・企画に参加。生活の拠点を大分県内に移すことを考えていたとき協力隊の募集を知り応募。



(ナマステ福岡)

インド人スタッフと共に開催する九州地域最大規模のインドイベント。
2019年開催の第4回まで広報・文書全般・スタッフ管理を担当。

(テン大books)

生涯学習を推進するNPO法人「テンジン大学」内の読書サークル。
2015年から月一回読書会を開催。現在はZoomでの開催を継続中。



PROFILE

活動

ブックカバー制作

2020.12.16 (水) 大分合同新聞朝刊

広報宣伝物としてブックカバーを制作

12月から3月の4ヶ月間 道の駅のつはるで アンケート回答者に無料配布

→ 読書週間(10/27-11/9)にあわせて 第二弾を予定



ブックカバーを作った地域おこし協力隊員の藤丸淑美さん(大分市野津原)

大分市地域おこし協力隊員藤丸さん

野津原の名所名産モチーフブックカバー出来ました

【大分】大分市の地域おこし協力隊員として野津原地区の広報活動に取り組む藤丸淑美さん(49)が、地区の名所や名産をモチーフにしたブックカバーを作った。道の駅のつはる(同市下原)で配布している。

文庫本サイズで、デザインは道の駅近くのななせダムと丸山神社(今市)、名産の七瀬林の全3種類。それぞれ自ら写真撮影、レイアウトを手掛けた。道の駅で地区に関するアンケート用紙に記入すれば、どれか1種類がもらえる。各150枚ずつで先着順。藤丸さんは「持ち運ぶ本に掛けてもらい、普段から野津原を身近に感じてほしい」と話した。(湯浅大我)

アンケートに答えて野津原特製のブックカバーを貰おう!

文庫本サイズのブックカバーです

アンケートにご協力をいただいた皆様は野津原地域のオアシス(名子ザイン)したブックカバーをプレゼント! 設置されたアンケートにご回答のうち必ずお持ちください。ブックカバー3種類の中からお好きな1枚をお選び頂けます。各種別着150名様(合計450名様)おひとり様1枚限り(なくなり次第終了)となります。

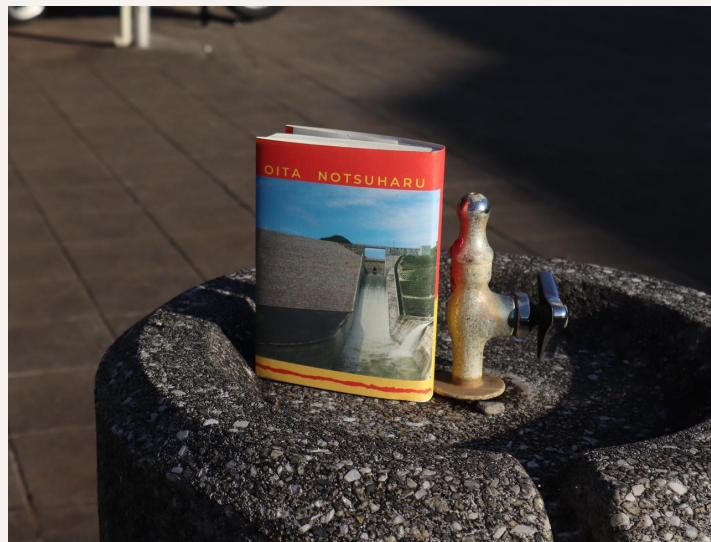
野津原をお持ち帰りしませんか?

このブックカバーは野津原地域を担当する大分市地域おこし協力隊が制作しました!

【地域おこし協力隊って?】
「都市地域から移住した者が、様々な地域協力活動を行いながら暮らし、定住を促すことで地域の活性化に貢献する」という趣旨の取り組みです。大分市では平成23年から制度を導入しました。

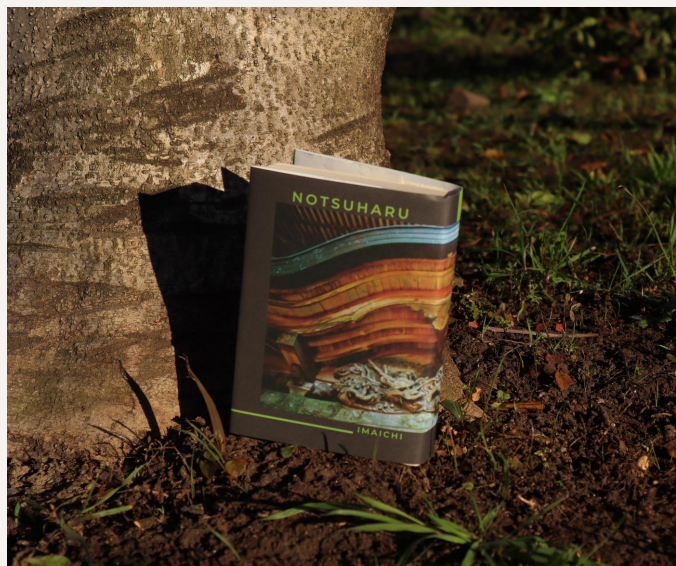
活動

ブックカバー制作



ななせダム

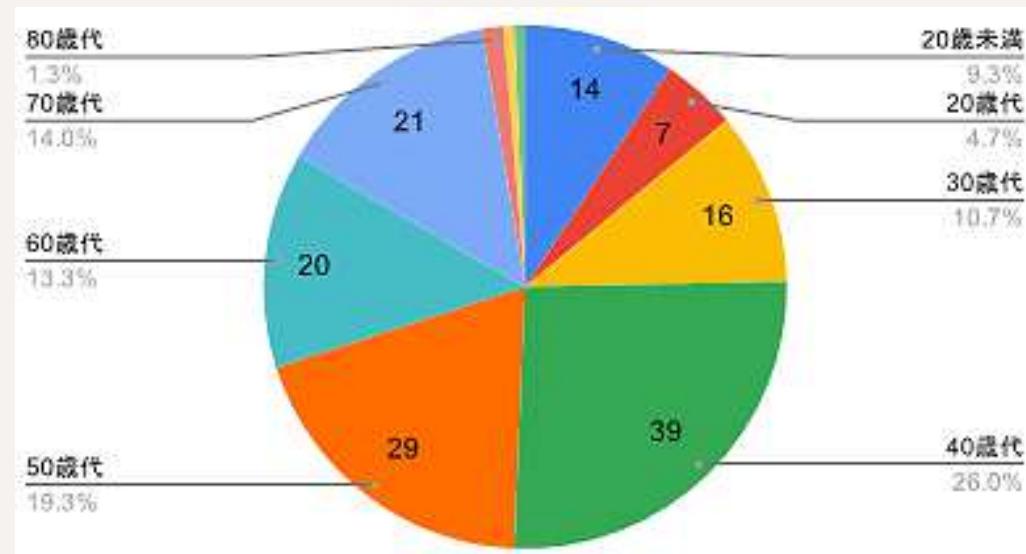
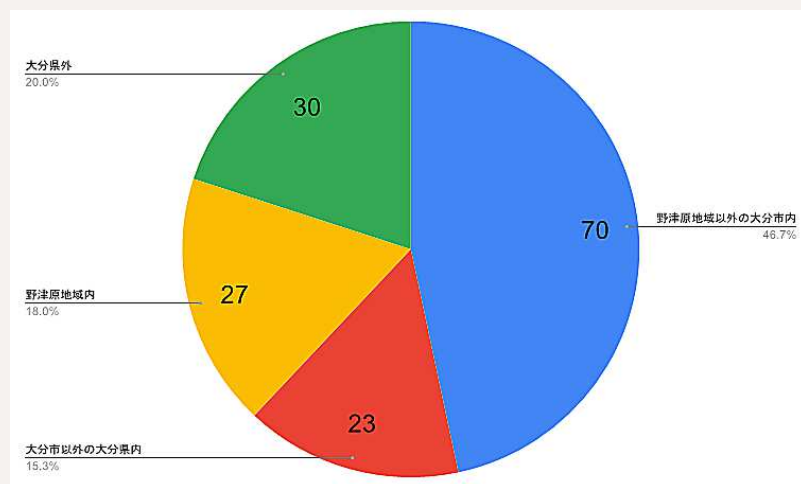
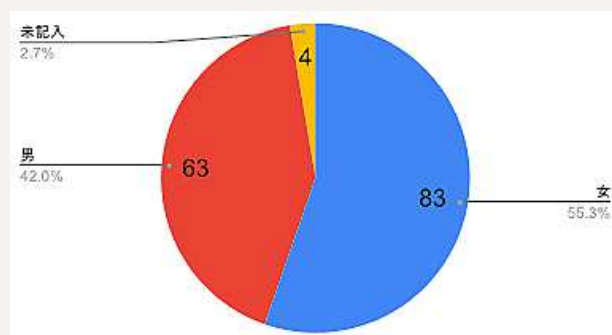
丸山神社



豊の七瀬柿

ブックカバー制作

道の駅のつはるでアンケートを実施
(回答数150件)



大分県外からは、東京・埼玉・神奈川・福岡・佐賀
宮崎・熊本・山口・愛媛から来られていました。

イベントのブース運営

野津原の魅力を発信するブースを野津原地域担当協力隊員で運営

あわせてイベント全体の撮影に従事



2020年9月
のつはる音の森フェスティバル
「のつはる魅力ブース」

2021年3月
野津原こどもアート学校
「のつはるみりょくるーむ」



ポスター制作(1)

2020年9月開催

のつはる音の森フェスティバルで運営した
「のつはる魅力ブース」で展示



観光ポスターを作った地域おこし協力隊の藤丸淑美さん＝大分市野津原

6人を借りて運用する。バスは6月から運行。車両(13人乗り)を別の美観運行に使うため、8月下旬から同型の8人乗り車両を借り、走行区間を短縮していた。12月上旬以降、元の車両で運行を再開させる予定。
利用無料(先着順)。問い合わせは市都市交通対策課(☎097・537・5969)か市のホームページ(湯浅大我)

野津原の魅力をポスターでPR

地域おこし協力隊の藤丸さん

【大分】大分市野津原地区の魅力を紹介しようと、地域おこし協力隊の藤丸淑美さん48らが地域の観光ポスターを作った。9月末に同市荷尾杵であった「のつはる音の森フェスティバル」会場で初披露された。
ポスターは全10枚(10種類)。今市の石畳や宇曾嶽神社といった地区の名所や、特産品の七瀬柿などを写真で紹介している。9月中旬に住民に協力してもらいながら撮影した。
「野津原の一番の魅力は四季によって姿を変える自然。今後も季節ごとの風景をポスターにしていきたい」と藤丸さん。
完成したポスターは、アトリエや地域住民の交流場所として利用されている旧野津原中部小で展示している。(湯浅大我)

2020.10.22 (木) 大分合同新聞朝刊

野津原地域担当の協力隊が野津原アピ——————ル!

大分市 地域おこし協力隊

「地域おこし協力隊」という制度は総務省による地方活性化事業のひとつです。「地域おこし協力隊員」は地方自治体採用され地域のために働いています。大分市では現在5名の地域おこし協力隊員が活動中です!

大分市地域おこし協力隊公式Facebook

野津原の名所を
アピールする
ポスター10種類

→ 野津原支所および
旧野津原中部小学校で展示中

ポスター制作(2)

大分市の野津原地域は第一次産業を基幹産業としてきた地域。

農業 林業 畜産業。

朝はやく 時には夜おそく。

ニラに 椎茸に 牛に

ひたむきに向き合うその熱意と愛情は
私たちの暮らしにつながっています。

「どんなとき嬉しいですか？」

三名の皆さんが笑顔で答えてくれた言葉をお届けします。



Photo by Fujimaru Yoshimi

野津原の第一次産業に
携わる人々をアピールする
ポスター3種類

2021年3月開催

野津原こどもアート学校で運営した
「のつはるみりよくるーむ」で展示

ポスター制作は2年目も行う予定

ポスター制作(2)



ここに喜びが在る野津原

無事に出荷できて
美味しく食べた
ち聞いた時は嬉しいわなあ
中村 秀一
(中村畜産)



©大分市地域おこし協力隊

大分市の西部に位置する野津原では子牛を育てる繁殖経営が営まれています。
黒毛和種の子牛は10ヶ月ほど育てられたあと各地に売られブランド牛になります。

餌をやり、体調を気遣い、大切に大切に育てた子牛たち。
市場に出すときは卒業のように嬉しい気持ちで
「いってらっしゃい」と見送るそうです。

いのちを育て、いのちを頂き、生きていく。

私たちの暮らしに中村さんの思いが繋がっています。



ポスター制作(2)



ここに喜びが在る野津原

パアツと出ちよんの見たときはなあ
やっぱ嬉しいわなあ

赤星 隆夫
(今市)



©大分市地域おこし協力隊

大分市の西部に位置する野津原は森林面積が全体の約八割を占める中山間地域。
ここでは昔からクヌギを用いた原木椎茸の栽培が営まれています。

木を切り、種駒を植え付け、二度の夏を超えて。
寒さを感じ始めた頃、椎茸がその姿を見せます。

山を守り、自然とともに、生きていく。

私たちの暮らしに赤星さんの思いが繋がっています。



ポスター制作(2)



ここに喜びが在る野津原

土づくりや温度管理は大変やけどな
キレイにできた時は嬉しいわなあ
河野 義一
(原村)



©大分市地域おこし協力隊

大分市の西部に位置する野津原ではニラの栽培が行われています。生長が早いニラですが暑さや湿気に弱いという一面もあります。

カマを使って収穫する。105グラムずつ丁寧に整える。多くの手作業を経て艶やかな緑の束は出荷されます。

土をつくり、自然とともに、生きていく。
私たちの暮らしに河野さんの思いが繋がっています。



ポストカード制作

野津原こどもアート学校で運営した
「のつはるみりよくるーむ」で
アンケート回答者に無料配布
(泊隊員による3種類とあわせ全6種類)

→ 4月より道の駅のつはるで
アンケート回答者に無料配布中



☆ 写真3種類 ☆

野津原神社のサクラ

今市石畳シダレザクラ1

今市石畳シダレザクラ2

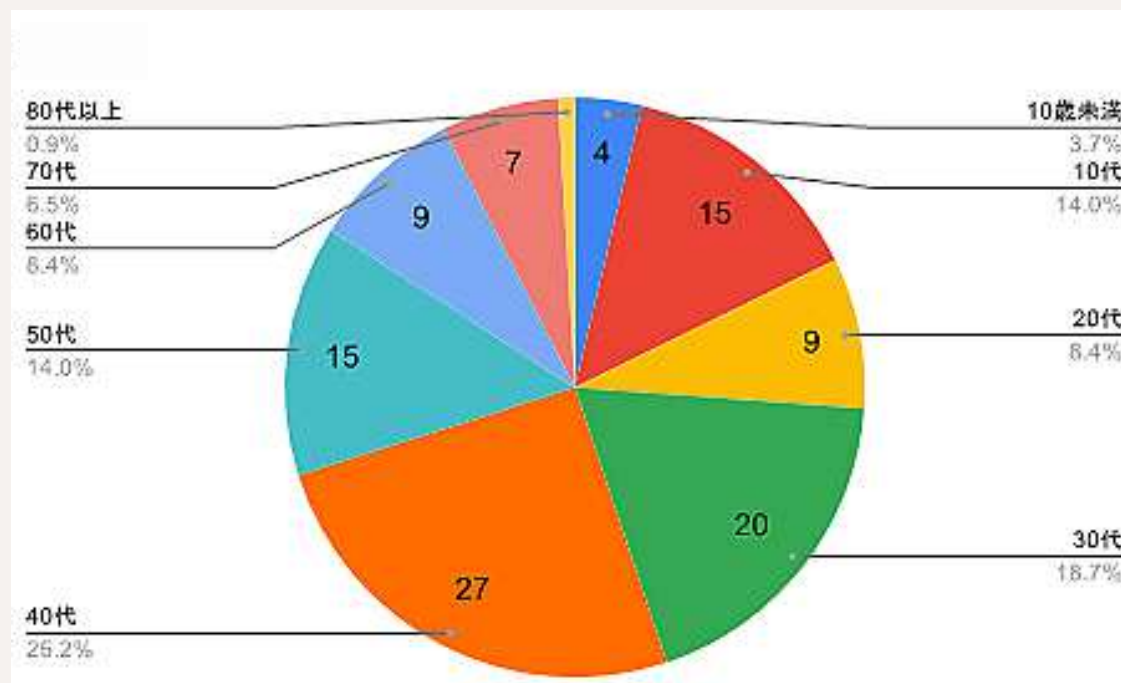
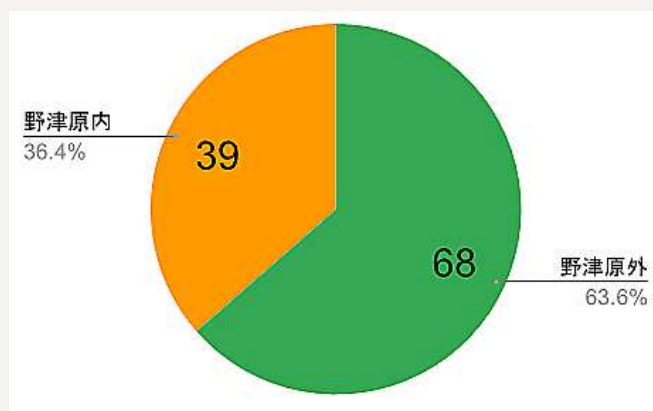
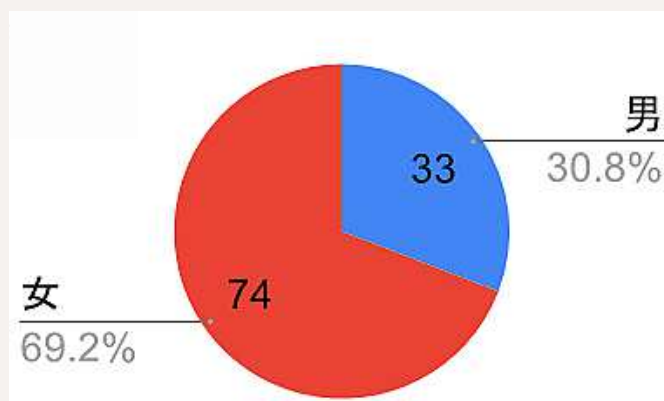


今後もイベントにあわせ第二弾を予定



ポストカード制作

野津原こどもアート学校（来場者のべ400名）で
のつはるみりよくるーむ（来場者のべ200名）を運営し
アンケートを実施（回答数107件）



野津原外は、大分市をはじめ、別府市、由布市、豊後大野市、
臼杵市からご来場いただきました。

SNS情報発信（公式）

【公式活動】

地域おこし協力隊公式Facebookで
野津原地域の情報を発信



芦刈隊員による佐賀関地域の情報発信とあわせ
週に一回ペースで更新

フォロワー数増 → 今後さらに増やすことが目標

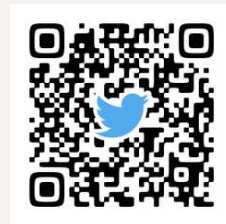


SNS情報発信（非公式）

【個人活動】

Twitterで野津原を中心に大分市内および大分県内の情報を発信

Instagramで野津原を中心に大分市内および大分県内で撮影した写真を発信



@wisteria2020.jp



@wisteria2020japan



移住NOTSUHARU



2020.8.21（火）大分合同新聞朝刊

SNSで野津原の魅力発信

【大分】地域おこし協力隊として今年1月から大分市野津原支所で働く藤丸淑美さん(46)は、同隊のSNS(フェイスブック)を、同隊のSNS(フェイスブック)を使って情報発信に取り組んでいる。ななせタムや、したれ桜が美しい今市の石畳など、地域の

名所や季節の花々を紹介。閲覧数も少しずつ増えているという。福岡市で臨床検査技師をしていたが、高校まで通っていた大分市に戻り協力隊になった。野津原を訪れたのは初めてだったが、雄大な自然や完

成したばかりのダムを見て地域の魅力を感じたという。当初は新型コロナウイルスの影響で取材ができず、記事を掲載できない日が続いた。5月ごろから週1回のペースで、同隊のフェイスブックを更新している。

地域協力隊員
藤丸淑美さん

6日は高原の「県民の森キヤンプ場」を取材。ツリーハウスや、川遊びにぴったりな小川などの写真を撮った。「今年は祭りが軒並み中止。気軽に来るとは言えないが、収束後に行きたいと思える野津原の魅力をたくさん紹介しておきたい」と話している。

(湯浅大我)

【協力隊共同活動】

YouTubeで移住者視点で野津原や大分市内および大分県内の魅力を発信

連携活動

《野津原公民館》

ななせ大学で講演・広報誌編集作業に参加
写真整理と展示・教材用DVD制作に協力

《野津原町商工会》《野津原小学校》

→ 新商品開発の取材・情報発信

《ななせダム管理事務所》

《道の駅のはる》《大分市宇曾山荘》

《おおいた動物愛護センター》 → 情報発信

《大分市役所各課》

文化振興課・農政課・観光課・おおいた魅力発信局
写真に関する問い合わせ：広聴広報課・上下水道局

野津原小3年生が考えた野津原の新名物！道の駅のはるで販売♪

野津原小学校3年生の児童21名が総合的な学習の一環で「野津原の新名物」を考案し、商品化されました！「野津原を有名にしたい！」という子ども達の願いが、「野津原ならではの商品を作りたい」と考えていた野津原町商工会と道の駅のはるの協力で実現したものです。

調査は2020年8月からスタート。最初は「野津原には名物がない」と思っていた子ども達でしたが、地域の人達に聞いたり自分達で調べていくうちに、野津原にも色々な名物があることに気づきました。アンケートをとって「どういったものが求められるのか？」という視点からも考えながら、商品のアイデアを出し合いました。最終的に8つの商品に絞って担当班を決め、作り方や必要な材料、パッケージデザインや価格設定も考えて発表内容をまとめました。

発表会では審査員による厳正な審査が行われ、3つのアイデアの商品化が決定しました！大人の前で発表するのは緊張しましたが、みんな上手に説明できました。

野津原支所の職員さんにもインタビューしましたよ！

アンケート調査しましたよ！

インタビューの原稿を用意しましたよ！

こんな商品も考えました！

《2020年12月発表会》
班ごとに発表をしました！

そしてついに！2021年1月28日第一弾の商品「のはるパンケーキ」のお披露目会が道の駅のはるで行われました！今後「ホテルソフトクリーム」と「のはる季節クッキー」が商品化される予定です！

担任 阿部 尚幸 先生
「ふるさとを良くしたい」という子ども達の思いから新名物ができました。地域のみなさんにご協力いただき、本当に良い総合的な学習になりました。

お好みでトッピングができますよ
のはるパンケーキ

NEW!

おまけカードも作りましたよ！

手作りポスターやチラシで宣伝！CMも作りました！

《2021年1月お披露目会》



個人活動

【ボランティア参加】

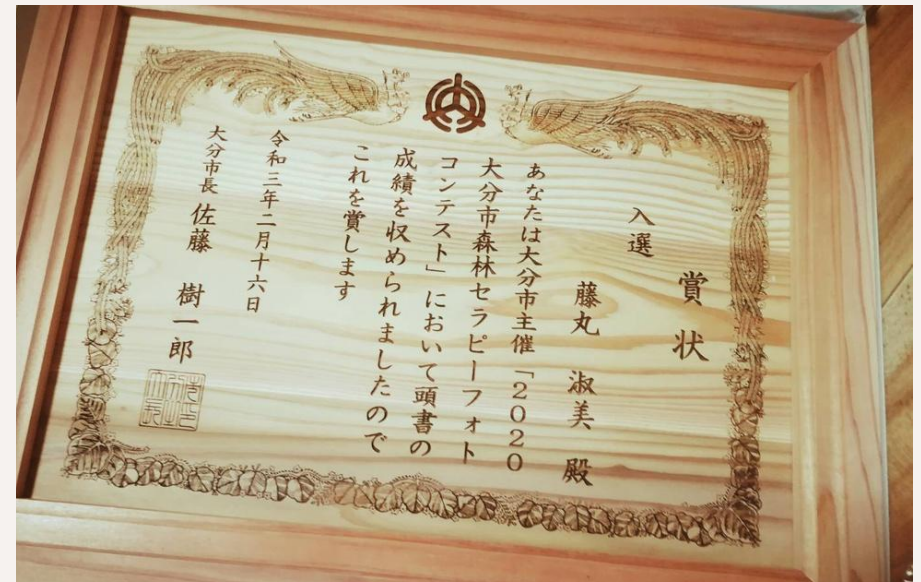
大分車いすマラソンボランティア
ななせ交流会清掃活動
おおいたうつくし作戦清掃活動

→ 引き続き可能な範囲で参加していく

【フォトコンテスト応募】

2020大分市森林セラピーフォトコンテスト
大分の文化財フォトコンテスト
ななせダムフォトコンテスト

→ 引き続き可能な範囲で野津原の写真を応募していく



二年目の活動目標

☆地域コミュニティ活性化に関する取り組み

→ サロン等の巡回、写真撮影

☆歴史的遺産等の情報発信に関する取り組み

→ ボランティアガイドとの連携、広報物制作、SNS発信

☆ななせダムおよび周辺施設を活用した交流人口増加に関する取り組み

→ マップ制作、イベント参加、各機関各課との連携

二年目もよろしく願っています！